情報公開文書
2025 年 03 月 06 日作成 ver3

1. 女性骨盤 MRI の T2 強調像における、深層学習を利用した画像変換の、臨床的有用性の検討

2. 倫理審査と許可
京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会の審査を受け、
研究機関の長の許可を受けて実施しています。

3. 研究機関の名称・研究責任者の氏名
主な研究機関：京都大学大学院医学研究科
研究責任者：放射線医学講座（画像診断学・核医学）　教授　中本裕士
既存情報の提供のみを行う機関：
京都桂病院 放射線診断科 部長 山岡利成
日本赤十字社和歌山医療センター 放射線診断科 部長 梅岡成章

4. 研究の目的・意義
本研究の目的は、女性骨盤 MRI において、鎮痙剤を用いて撮像された同一患者さんの HASTE と TSE をセットで深層学習を行うことにより、HASTE から TSE に似せて画質を向上させた Synthetic TSE（以下 sTSE)への転換モデルを作成し、鎮痙剤非使用の患者さんの HASTE に同モデルを適用することで、従来の T2 強調撮像法（BLADE、HASTE）よりも画質の高い T2 強調像を作成することです。本研究により、鎮痙剤非使用時に、従来法よりも良質の画像を提供することが可能となり、鎮痙剤が禁忌・慎重投与の対象となる患者さんに有益と考えられます。

5. 研究実施期間
研究機関の長の実施許可日から 2026 年 12 月 31 日 まで

6. 対象となる試料・情報の取得期間
2023 年 4 月 1 日から 2024 年 9 月 30 日の間に、京都大学医学部附属病院放射線診断科で、婦人科疾患の MRI を臨床的必要性から撮像された患者さん。
また、2024 年 2 月 1 日から 2024 年 11 月 30 日の間に、日本赤十字社和歌山医療センター、および京都桂病院で臨床的必要性から骨盤 MRI を撮像された患者さん。

7. 試料・情報の利用目的・利用方法
鎮痙剤を使用して女性骨盤 MRI が撮像された方の MRI を用いて、上記の sTSE 転換モデルを作成いたします。続いて、鎮痙剤非使用で女性骨盤 MRI が撮像された方の MRI を用いて、従来の T2 強調撮像法(BLADE、HASTE) と sTSE との画質の比較を行います。各機関で個人を特定できる情報を削除し、当院で解析に使用します。

8. 利用または提供する試料・情報の項目
女性骨盤 MRI、撮像時の年齢、臨床診断、病理診断結果

9. 利用または提供を開始する予定日
研究機関の長の実施許可日以降

10. 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名または名称
京都大学大学院医学研究科　放射線医学講座（画像診断学・核医学）教授　中本裕士

11. 研究対象者またはその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用または他の研究機関への提供を停止すること及びその方法
下記の 15 の連絡先にご連絡をしていただければ、患者さんの情報使用を停止いたします。

12．他の研究対象者等の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内での研究に関する資料の入手・閲覧する方法

他の患者さんの個人データを取得することはできませんが、研究や個人情報保護に支障がない範囲で、本研究に関する研究の資料の入手・閲覧ができますので、下記の 15 に示す連絡先にお問い合わせください。ただし、研究や個人情報保護に支障があると判断された場合は、資料の入手・閲覧ができないことがあります。

13．研究資金・利益相反

1）　研究資金の種類および提供者

研究資金の種類:大学運営費交付金
提供者: 京都大学

2）　提供者と研究者との関係

京都大学は研究の企画、運営、解析、論文執筆などに直接関与しません。

3）　利益相反

利益相反について、京都大学利益相反ポリシー、京都大学利益相反マネジメント規程に従い、京都大学臨床研究利益相反審査委員会において適切に審査しています。

14．研究対象者等からの相談への対応

1）　代表機関の相談窓口

京都大学医学部附属病院放射線部　助教　樋本　祐紀
（Tel）075-751-3760　PHS 2513
（E-mail）yhimoto@kuhp.kyoto-u.ac.jp

2）提供元機関の相談窓口

京都桂病院　臨床試験センター
（Tel）075-391-5811
（E-mail）chiken@katsura.com

日本赤十字社和歌山医療センター
（Tel）073-422-4171

3）　京都大学の苦情等の相談窓口

京都大学医学部附属病院　臨床研究相談窓口
（Tel）075-751-4748
（E-mail）ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp